

エゾカンゾウは見納めとなってしまいましたが、夏を彩るお花たちがサロベツ原野に少しずつ咲き始めています。中でもノハナショウブが多く咲いており、緑の湿原と赤紫色のコントラストに心を打たれます。幌延ビジターセンターとパンケ沼園地の両方で見ることができるので、見ごろのノハナショウブをぜひ自分の目に焼き付けてください。

### \* 令和2年7月15日取材時の状況 \*

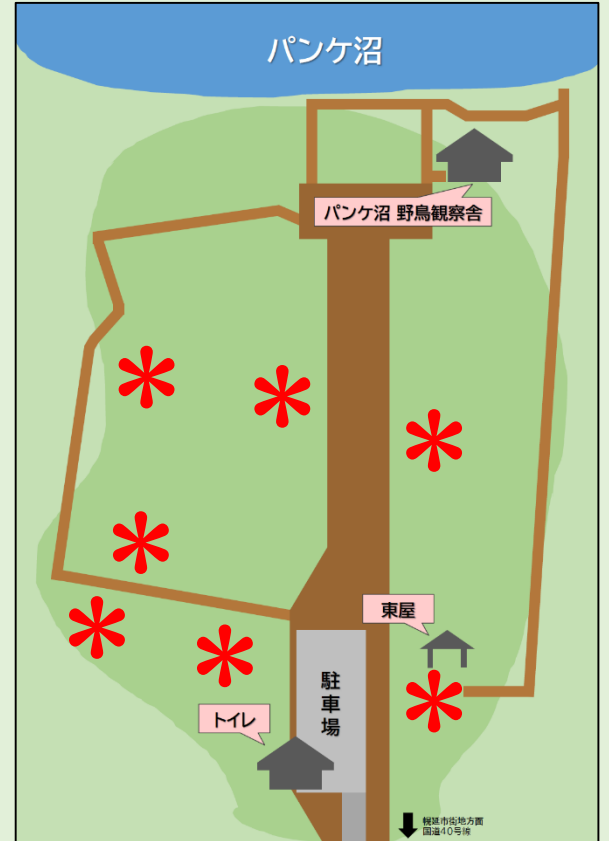
場所はコチラ！

(\*マーク付近にノハナショウブが咲いていました)

今週の1枚



青空に向かって咲くノハナショウブ(パンケ沼園地)



幌延ビジターセンター 撮影



\*タチギボウシ\*  
(クサスギカズラ科)



\*ホロムイチゴ(果実)\*  
(バラ科)



\*フトイ\*  
(カヤツリグサ科)  
名前は"フトイ"だけど  
見た目は細い！

パンケ沼園地 撮影



\*オトギリソウ\*  
(オトギリソウ科)



\*イヌゴマ\*  
(シソ科)



\*ドクゼリ\*  
(セリ科)  
毒があるので触らないでください！

#### 開花情報

- \*エゾノサワアザミ
  - \*カキツバタ
  - \*サギスゲ
  - \*コウホネ
  - \*オゼコウホネ
  - \*ネムロコウホネ
  - \*モウセンゴケ
  - \*ハマナス(※)
  - \*ハマヒルガオ(※)
  - \*エゾニュウ(※)
- (※)は海岸草原のみ

#### お知らせ



バックナンバー掲載中！